

～松山の思い 届けたい～

# ふるさと 松山便

「ふるさと松山便」では、四国・松山の旬な情報をお届けするとともに、皆さんの交流の場として、その他様々な情報を発信していきます。

2月号 Vol.29



声高々にみかんジュースで乾杯する新成人ら

## —今月の表紙—

### 「松山の成人式」

1月9日、松山市の「成人式」が、市内29会場で開催されました。5196人の新成人は久しぶりの同級生と語り合いながら大人への決意を新たにしていました。



祝いの餅つきをする新成人

## 松山ニュース(1月)

- ・野志松山市長が公約に掲げていたタウンミーティングが五明地区で開催される(13日)
- ・全国に約500店舗を展開する電化製品販売大手のベスト電器松山店が2月末で閉鎖(14日)
- ・松山城の本丸広場で、城の誕生日会が開かれ、子どもたちや観光客らが409歳の城を祝う(15日)
- ・松山市の堀之内城山公園 新ルールを発表。芝生部分を犬の散歩禁止にするなど明文化する(26日)
- ・中村愛媛県知事、広島県との広域連携に前向きな考え(27日)
- ・県営黒瀬ダム(西条市)を主な水源とする松山分水問題などについて、県と松山・西条・新居浜3市で話し合う「水問題に関する協議会」の幹事会が愛媛県庁で開催される(28日)
- ・「第3回全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞」の大賞に、松山商工会議所の「坂の上の雲」を軸にした観光振興の活動が選ばれる(30日)

## —特集—

～松山情熱大陸⑤～ 坂の上の雲ミュージアム担当者に聞く 徳永佳世さん

## お知らせ

・『坂の上の雲』のまち松山 スペシャルドラマ館

3月6日(日) リニューアルオープン

ドラマで使用された衣装や小道具などが多数展示、ドラマ「坂の上の雲」の魅力満載

問い合わせ 交流人口・産業拡大会議事務局 089-921-0041

・坊っちゃん劇場 「誓いのコイン」 4月9日(木)から上演

日露戦争で捕虜となったロシア人青年将校と日本人女性看護師の国境を越えた恋物語

問い合わせ 坊っちゃん劇場 089-955-1174



# 「成長する記念館」、「魅力ある展示づくり」を目指して

ありとあらゆる分野の第一線で活躍する松山人にスポットを当て、その人の素顔に迫る「松山情熱大陸」。今回のゲストは坂の上の雲ミュージアムの学芸員、徳永佳世さんに坂の上の雲ミュージアムの魅力や3月から始まる新たな企画展の見所などを伺いました。



Tokunaga Kayo  
徳永 佳世さん(学芸員)

スペシャルドラマ放映の影響で坂の上の雲ミュージアムが全国的に注目を集めていますね。おかげさまでスペシャルドラマ効果により、愛媛県内の『坂の上の雲』ゆかりの各地で観光客が増加しています。坂の上の雲ミュージアムにおいても昨年の11月に開館から3年7カ月で入館者60万人目のお客様をお迎えすることができました。今後も「成長する記念館」をモットーとして、多くの方々に訪れていただくためにも、根幹となる小説に描かれた主人公3人の足跡や明治という時代に関する展示に加え、地域に根ざしていくという観点から様々なまちづくり活動も行い、訪れた方々が時の流れについて感じ、考える場を提供していきたいと考えています。

**いよいよミュージアムの第5弾となる企画展が始まりますね。**

今回の企画展は、「日露戦争と明治のジャーナリズム」

ナリズム」シリーズの第2回目として、「バルチック艦隊と真之」という企画展を開催します。バルチック艦隊の大航海は、距離にして約1万8千海里（約3万3千キロ！地球一周は約4万キロ）、期間は約7カ月間にもおよび、大きさや性能の異なる約60もの艦船を率いており、歴史上例のないものでした。バルチック艦隊司令長官ロジェストヴェンスキー提督の家族あて手紙や乗組員たちの記録、当時の新聞、風刺画等を通してその実態に迫ります。また、バルチック艦隊に対して秋山真之ら連合艦隊の幕僚たちが、何を研究し、どのように対処しようとしたのかなど、日本側から見たバルチック艦隊のすがたについても紹介します。

**いろいろと苦労があったのでは。**

今回は、ロシアの資料を扱うということで、ロシア語の壁に苦労しました。英語であれば、その資料がどのようなものであり、何が書かれているのかはおおよそ把握できるのですが、ロシア語となると全くわかりません。研究者の方々のサポートをいただきました。なんとか展示ができるようになりました。また、国内に残るバルチック艦隊関係資料



をできるだけ収集するということで、茨城県の水戸市から長崎県の対馬市まで学芸員2名で調査を行いました。現存するバルチック艦隊の資料全てとはいかないのですが、所蔵先のご協力のもと、借用することのできた資料を展示します。

**今回の企画展の見所など。**

対馬市教育委員会からお借りした、ロシアの駆逐艦「ブイストルイ」の鐘は艦名がロシア語で書かれているなど見応えがあると思います。

その他の展示においても、バルチック艦隊の航海図を軸として、乗組員たちが見た新聞や彼らの手紙を通じて大航海の実態に迫る資料や、現在日本の各所に残されているバルチック艦隊の痕跡を一堂に集めて展示しています。

**松山ゆかりの皆さんにメッセージを。**

日々、魅力ある展示づくりに努めています。第5回企画展からは「キッズ・コーナー」も新たに設け、子どもたちにも分かりやすく学んでいただけるような資料を揃えました。帰る際には、ぜひご家族でご来館ください。また、ミュージアムでは、『坂の上の雲』に関する資料を探していますので、情報がありましたらお気軽にご連絡ください。



ブイストルイの鐘

坂の上の雲ミュージアム事務所  
TEL 089(915)2600

**お問い合わせ**

松山市 東京事務所  
〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階  
TEL 03-3262-0974 E-mail:tokyo@citymatsuyamaehm.jp